



会長退任に当って

土 光 敏 夫*

私は42年5月加藤前会長のあとに会長をお引き受けいたしました。就任に際して申し上げました通り、ORについて殆どその知識がなかった私が会長として大過なくその任期を過し得ましたことは、一重に役員諸氏及び会員御一同の御援助のたまものと深く感謝しております。

回顧いたしますれば、42年8月国際会議（ORAW）を盛会裡に開くことができ、また43年5月米国ランドコーポレーションの Dr. Hoge を招いて P.P.B.S. に関する講演会を実施し、更に本年5月学会員一同の永い願望でありました独立した事務所を持ち得たこと等、幾多のことが思い出されます。

最近の日本産業の進展には目覚しいものがあります。しかしアポロの月計画を見たとき今までの日本のあり方のうち考えなおすことが非常に多いと考えます。自由化に伴う外国との競争に打ち勝つためには経営をもっとはるかに合理的に行うことが不可欠であります。単に国民の勤勉や経営者層の勤、経験等にたよっていは国際競争の敗者ならざるを得ないでしょう。このための武器として Operations Research の重要性は増々多くなることが考えられ、日本OR学会の使命もここにあると存じます。

このときに当って日本電気の小林宏治氏のごとき謙達之士が会長に就任されましたことはOR学会のみならず日本産業界にとってもこの上ない幸と存じます。

OR学会の今後の発展を切に希望してやみません。

* 東京芝浦電気株式会社 取締役社長